

同和問題啓発アニメ

イジメ・ケンカはイエローカード  
友情のゴールめざして突っ走れ!



# 友情のキックオフ!

上映時間 27分

16ミリ版 240,000円

ビデオ版 80,000円

価格は税抜 (C # 7400)

■字幕スーパー入り16ミリ版  
ビデオ版もございます。



企画/名古屋市  
名古屋市教育委員会



東映株式会社 教育映像営業部  
〒104 東京都中央区京橋2-4-12 ☎03-3272-5191 FAX.03-3273-7949

## 制作意図

この映画は、同和問題に対する正しい理解と認識の深まりをねらいとして、小学校高学年以上の人を対象に制作しました。

子どもたちの純粋な心には、もともと〈差別〉などという意識はありません。大人たちの不用意な一言や、子どもたちの疑問に対する親たちの曖昧な態度が、間違った認識を植え付けてしまうのです。

この物語は転校生の少年を迎えて初めて〈差別〉に出会った子どもたちの波紋をとらえ、その中で積極的に考え、行動しようとする主人公の少女を軸に、望ましい真の友情のあり方を探り「差別しない、させない、許さない」という子どもたちの認識の高まりを描いています。

## あらすじ

仁美（小5）の学校に初めてサッカーチームが出来た。大学時代、女子サッカーの選手だったみつ子先生が来たからだ。メンバーは先生も入れてやっとミニサッカーが出来る12人。なにしろ出来たてのホヤホヤだからボールも思うように回せない。そんなチームに凄いのが入って来た。転校して来た誠だ。サッカーボールを足先や、ひざや、頭でトントンと器用にあやつり、しかも、ドリブル・パス・タックルとサッカーの基本が出来上がっているから、たった一日の練習で文句なくチームのエースになってしまった。そんな誠にファイトを感じた仁美は、中学生クラブチームの名ストライカーの兄の昇にトレーニングを頼むのだった。

誠が入ったので、ようやくチームらしい練習が出来るようになってきたが、日を追って誠に対するガキ大将の太志たちの態度がおかしくなってきた。教室でもわざと誠を無視したり、掃除当番も誠ひとりにやらせて知らんぷり。見かねた仁美が太志の仲間の哲に「どうして誠くんにイジワルするの？」と問いつめると「仁美ちゃん、誠が転校して来る前、どこの町にいたか知っている？」と意外な返事が返ってきた。仁美はみつ子先生に相談した。人権尊重の精神をしっかりと教えていこうと決意するみつ子先生。

次の日、先生は「イジメやイジワルをしないように！」と注意したが、誠に対するイジメはグランドで続いた。太志が誠を引き倒す。誰も誠にパスを回さない。誠のパスをわざと受けない。さすがのみつ子先生も「これじゃ練習にならないわよ！ 来週には初めての対外試合があるので。しっかりして！」と怒った。

その対外試合の日がやって來た。前半は3対0、後半も2対0で一方的に負けていたが、誠がシュートとみせかけて哲へパス。それを哲が蹴り込んで初ゴールが出た。勢いがつき、太志の上げたボールを誠がヘディングシュートを決めた。「ナイスパス！」「ナイスシュート！」日頃の関

係を忘れて喜び合う二人だった。試合終了後、誠の父が缶ジュースを差し入れるのであるが、太志や哲の母親たちは割って入り、自分たちの持参した麦茶を飲むように子どもたちに強制して仁美とみつ子先生をがく然とさせたのだ。

その日の夜、仁美は「誠くんのいた町の人は、どうしてそんな目にあわされるの？」と、お父さんに尋ねたが、言葉をにぎられてしまった。

次の日の練習に誠の姿がなかった。みつ子先生はみんなを集めて「このチームはサッカーをやる資格がありません。偏見や差別がどれ程相手（誠）の心を傷つけているか、よく自分の頭で考えて下さい。」と諭した。

仁美は練習を休んだ誠が気になって誠の家を訪ねた。そこで、誠のお父さんから「ある町や場所で生まれ育ったというだけで差別される」現実があることを教えられるが、仁美はきっぱりと「差別は間違っている。絶対に！」と言いくるのだった。

しかし、日曜日の仁美の誕生会はひどかった。集まっているのは誠と明子とまなみの三人だけで、他の人は次々と断りの電話をかけてきたのだ。兄の昇は、悩んでいる仁美を励まそうと、夜の公園にトレーニングに誘った。その公園のベンチに、哲がしゃんぱりと座っていた。哲は誕生会に行くつもりだったが、母親と喧嘩になって、家を飛び出してきたという。

翌日の放課後、仁美はみつ子先生に「サッカーをやめます。人を差別するようなチームでやりたくありません。」と言って帰ってしまった。仁美がサッカーをやめたと聞かされた部員たちに波紋が広がった。「オレもやめた！」と、ふてくされる太志に「やめるなんなら誠に謝ってから行けよ！」と哲が強い口調でいいさがった。公園で兄とパスの練習をしていた仁美を誠が迎えに来た。校庭では、部員たちが、もう一度ゼロから始めようと円陣を組んだ。そこに誠が仁美を連れて戻って來た。太志が二人の前に駆け寄って言った「仲直りしよう！」。誠と仁美は大きくうなづいた。

「さ、友情のキックオフ！」ホイッスルがさわやかな空に響き渡った。

### 制作……東映株式会社教育映画部

プロデューサー……河田富三郎 キャラクター設計……入江篤  
脚本……愛川直人 作画監督……眞庭秀明  
監督……矢吹公郎 美術監督……河野次郎  
音楽……渡辺博也 撮影監督……白井久男

制作協力……矢吹事務所・動画工房

〈声の出演〉

仁美……林原めぐみ 仁美の兄……沼田祐介  
誠……渡辺久美子 太志……佐藤智恵子  
先生……鶴ひろみ 哲……萩森徇子

### ●お買い上げは……

関東営業所 東京都中央区京橋2-4-12 〒104 ☎03-3272-5191  
新潟出張所 新潟市東堀前通り六番町 〒951 ☎025-222-3091  
関西営業所 大阪市北区曾根崎新地1-13-22 〒530 ☎06-345-9026  
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730 ☎082-249-3930  
高松出張所 高松市本町11-7 〒760 ☎0878-51-3766  
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460 ☎052-971-0923  
九州営業所 福岡市博多区博多駅中央街5-12 〒812 ☎092-473-8541  
東北営業所 仙台市青葉区二日町13-26-305 〒980 ☎022-222-7613  
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060 ☎011-231-1439